

ふじえしょうがっこう
藤江小学校

『クロームブック活用かつようのルール』

学習内容がくしゅうないようをよく理解りかいし、より豊ゆたかかな学びまなびにしていくために、パソコンを上手じょうずに活用かつようしていくことが大切たいせつです。タブレットは、みなさんの学習がくしゅうに役立つ道具やくだつどうぐです。便利な道具べんり どうぐですが、心配しんぱいされることもあります。みんなでルールを守りまもり、学校がっこうから借りるタブレットを「安心あんしん・安全あんぜん・快適かいてき」に活用かつようしましょう。

ねん 年
なまえ 名前

使う時に守ること

・学校で貸し出すタブレットは、学習のために使うことが目的です。

・主に、学校と家庭で使います。

・登下校中は、カバンから出しません。

・使う時間は、朝8時から夜8時までの間にしましょう。

・落としたり、水にぬらしたりしないよう、十分に気を付けましょう。

・持ち運ぶときは、カバーに入れましょう。

・画面は指かタッチペンで触れます。

～ 大切に使い続けるために、次のことはやめましょう ～

・持ったまま走ったり、歩きながら操作をしたりする。

・地面に置く。 ・カバンの下に置く。 ・不安定な場所に置く。

・ストーブの近くや日光の当たるところに置く。

・水をかけたり湿気の多いお風呂場などで使う。

・物を食べたり飲んだりしながら使用する。

・家のデジタル機器やメモリーカードなどに、接続する。

・鉛筆やペンで画面に触れる。 ・磁石に近づける。

・落書きをしたりシールを張ったりする。

学校

がっこう つか とき やくそく 学校で使う時の約束

- ・先生の指示をよく聞きます。
- ・授業時間以外で使う時も、先生に使う許可をもらって使しましょう。

ほかん ばしょ 保管する場所

- ・使わないときは、カバーに入れて、ランドセルにしまいます。

家庭

かてい つか とき やくそく 家庭で使う時の約束

- ・使用する時間は、家の人とよく話し合い、長時間使用せず、休けいしながら使います。
- ・寝る前30分、また夜8時を過ぎては使いません。

ほかん ばしょ 保管する場所

- ・家の人の目の届くところに置くか、ランドセルにしまいます。

じゅうでん 充電について

- ・充電は家でします。充電アダプターは家に置いておきましょう。

あんしん あんぜん つか 安心・安全に使うために

けんこう 健康のために

- ・正しい姿勢で、画面に近づきすぎないようにします。
- ・30分に一度は遠くの景色を見るなど、ときどき目を休ませます。

あんぜん しよう 安全に使用するために

- ・インターネットには、制限がかけられていますが、検索をするときには、十分に注意しましょう。
- もし、危険なサイトに入ってしまったときは、先生やおうちの人にすぐ知らせます。
- ・アカウントやパスワードは、他の人に知られないよう、自分でしっかり管理しましょう。

こじんじょうほう まも 個人情報を守るために

- ・他の人に貸したり、他の人に借りたりせず、自分のパソコンを使います。
- ・自分や他の人の個人情報(名前や住所、電話番号など)は、インターネット上に絶対に載せません。
- ・相手を傷つけたり、いやな思いをさせることは絶対に書き込みません。
- ・思いやりを持って使しましょう。
- 先生が許可した時以外、メールは使いません。
- ・カメラで誰かを撮影するときは、必ず相手の許可をもらいます。

著作権を侵害しないために

学校で作ったデータやインターネットから取り込んだデータ(写真や動画など)は、学習活動で先生が許可したものだけ保存します。

他の人の作品や演奏の音源などを使用するときは、相手の許可をもらいます。

こま 困ったら

不具合や故障

壊れてしまったときは、すぐに正直に先生に知らせましょう。

故障があれば、すぐに先生に知らせましょう。

使用の制限

活用のルールが守れないときは、タブレットの使用ができなくなります。

タブレットは、とても便利で楽しいものですが、ルールを守り、相手を思いやることができないと、危険な目にあったり、いやな思いをしたりさせたりします。

一人ひとりがルールを守り、楽しく学習に活用できるように

協力しましょう。

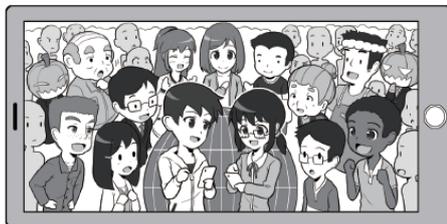
知らなかった・・・ではすまされない 楽しく 安全に使うために

「インターネット」が持つ性質

開かれた世界であるインターネットは、次のような点で、閉じた世界とは決定的に違います。

隣の人も世界中の人も、いい人も悪い人も、あなたを見ることができる

あなたから世界中のあらゆる人に開かれていると同時に、世界中のあらゆる人からあなたにも開かれています。これまで出会わなかったような悪い人もいて、あなたを攻撃してくるかもしれません。



一度流出した情報は永遠に残ってしまう

パソコンやスマホなどにある写真や友達とのやりとりや大事な情報は、一度流出したら、インターネットを通じてあなたの手の届かない世界の隅々まで広がります。完全に消すのは難しく、発信する前に一回手を止めて考えましょう。



インターネットの「悪い人」は、何をしてくるのか

インターネットの世界で自分を守るには、「悪い人」が何をしてくるのか、代表的な攻撃の手段を知っておくことが有効です。例えばパスワードについては、悪い人は右の図のように見破ってやろうなどと考えています。これを見ると、確かにパスワードは長くて複雑にし、使い回してはいけません。同様に、メールを使った攻撃やアップデートされていないパソコンへの攻撃などで悪い人が何をしてくるのか想像してみると、「なぜ」そういう注意が必要なのかより分かりやすくなります。



インターネットは便利で大きな可能性があり、世界中とつながることができますが、それを悪用する人もいます。一人一人が意識して自分の身を守ることが大切です。

1 パスワードは友達にもヒミツ

家の鍵と同じで、盗まれるとパソコンに侵入されて悪用されます。誕生日など簡単に分かるのもダメ。できるだけ長くて複雑なパスワードにしてヒミツの場所に保管するか、先生や保護者と相談しましょう。



2 メールリンクやファイルはすぐには開かない

パソコンを乗っ取るウイルスが仕込まれていたり、パスワードなどを盗もうとしたりします。LINEなどでも同じように注意。不安な気持ちや「心の隙」を突いてきて、知っている人になります。変だと思ったら誰かに確認しましょう。

